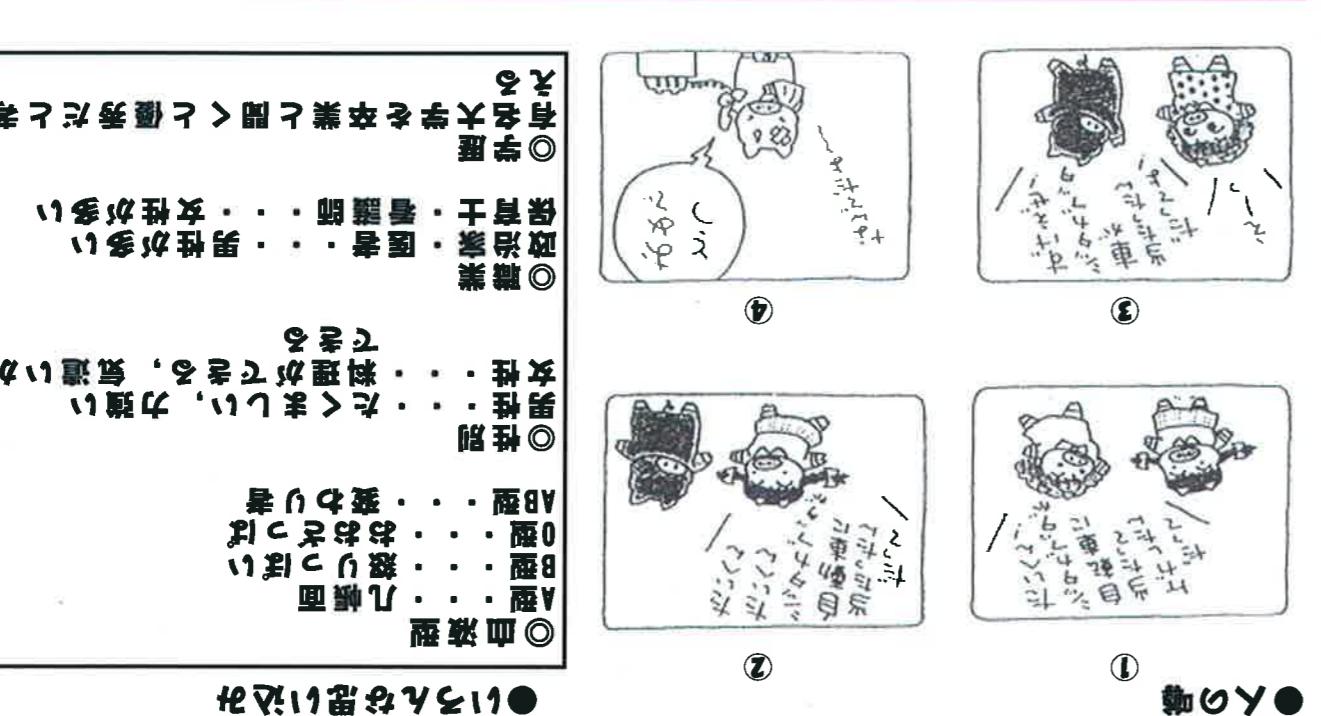




○日 時	令和5年2月19日(日)	14:00~15:30(13:20受付)
○場 所	阿南市文化会館(藝木一)2階研修室	
○内 容	「外国人日本語日本語で話す手本」	※13:50から10分程度、手話翻訳.Optional。

## □次回 阿南市人権教育・啓発市民講座 実例

多くの人が集団行動の結果として「差別的行為」を犯すことがあります。その多くは「自己防衛」や「他人に対する攻撃」など、相手の意図を理解する力が不足しているからです。また、相手の気持ちを理解する力が不足している場合、自分自身が何をすべきか判断する力も弱くなります。そのため、自分の意見を尊重する態度を持つことが大切です。一方で、自分の意見を尊重する態度を持つことは、自分自身が何をすべきか判断する力も強くなります。つまり、自分の意見を尊重する態度を持つことは、自分自身が何をすべきか判断する力も強くなります。



員体積: 0.01m<sup>3</sup>, △△△. 週収 10万円

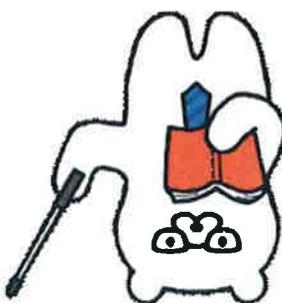
出身地: 中学校卒業, 性別: 男, 年齢: 11歳, 人種: 黄色人種, 性格: 勇敢, 認識: 世界平和推進者, 職業: 教師, 兴味: 旅行, 特徴: おとなしく、優しく、元気。

人の個性や特徴をどのように見入れるか、個人的見解を述べる

【例: どうぞアーティスト】

参考: 「無意識のアーティスト—Unconscious Bias—を知るための方程式」

無意識のアーティストの方程式は「この方程式」です。  
左側の「S」は「Stereotype」(偏見)、「A」は「Attribution」( Attribution)、「C」は「Correlation」(相関)、「R」は「Response」(反応)、「D」は「Desirability」(好ましさ)、「E」は「Evaluation」(評価)、「P」は「Perception」(感覚)、「I」は「Influence」(影響)、「T」は「Trait」(特徴)、「F」は「Frequency」(頻度)、「N」は「Neuroscience」(神経科学)、「U」は「Unconscious Bias」(無意識偏見)、「B」は「Behavior」(行動)、「H」は「Habit」(習慣)、「L」は「Locus of Control」( locus of control)、「M」は「Memory」(記憶)、「O」は「Orientation」(指向)、「R」は「Reinforcement」(強化)、「S」は「Simplification」(簡略化)、「T」は「Tolerance」(容忍度)、「V」は「Value」(価値)、「W」は「Willingness」(意欲)、「X」は「X-factor」(X因子)、「Y」は「Y-axis」(Y軸)、「Z」は「Z-score」(Zスコア)です。



「無意識の偏見」「無意識の偏見」

アーティスト・アーティスト (Unconscious Bias)

## □第2回 命運を左右する特徴 一瞬で見えてわかる

(2年 四宮 啓季)

(2年 父母 信昌)

(2年 大家 信輔)

(1年 成長 周り)

(3歳 加藤 功晶)

左側の「S」は「Stereotype」(偏見)、「A」は「Attribution」( Attribution)、「C」は「Correlation」(相関)、「R」は「Response」(反応)、「D」は「Desirability」(好ましさ)、「E」は「Evaluation」(評価)、「P」は「Perception」(感覚)、「I」は「Influence」(影響)、「T」は「Trait」(特徴)、「F」は「Frequency」(頻度)、「N」は「Neuroscience」(神経科学)、「U」は「Unconscious Bias」(無意識偏見)、「B」は「Behavior」(行動)、「H」は「Habit」(習慣)、「L」は「Locus of Control」( locus of control)、「M」は「Memory」(記憶)、「O」は「Orientation」(指向)、「R」は「Reinforcement」(強化)、「S」は「Simplification」(簡略化)、「T」は「Tolerance」(容忍度)、「V」は「Value」(価値)、「W」は「Willingness」(意欲)、「X」は「X-factor」(X因子)、「Y」は「Y-axis」(Y軸)、「Z」は「Z-score」(Zスコア)です。